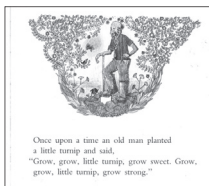


## 第2週

## Reading-Together

## 子どもが参加する読み

Today we're going to read this book. The title is *The Great Big Enormous Turnip*. と言って、絵本の表紙を見せます。Great も Big も Enormous も「大きい」という意味です。ここは、ひとつひとつの言葉を声色を変えたりジェスチャーをつけたりして読みましょう。Big を「ビーーグ」とのぼして、Enormous は「イノオムオス」というイメージで nor を長く伸ばして読むとよいでしょう。

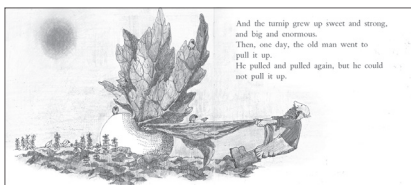


## ●おじいさんがかぶを植えているページ

grow sweet / grow strong は、甘くなあれ、強くなあれ、と意味を補います。turnip は、どのページにも登場します。「ターヌップ」と発音し、子どもたちに自然な発音を聞かせましょう。そして、ここで「どうして、そんなに甘くて大きな丈夫なかぶが採れるのを願っている

のかなあ。みんなは、大きなかぶがあったらどうやって食べたい？」と聞きます。子どもたちから、「漬物かなあ」「かぶなんて、そんなに食べないからわからないよ」などとあまりピンとこない反応が返ってくることでしょう。ここで日本人としての「かぶ」のとらえ方を引き出ししておきましょう。

その後、「では、ロシアの代表的なスープといえば何か知ってるかな？」と聞いてボルシチを紹介します。ボルシチの赤い色の決め手になるのが「かぶ」であることを話してあげましょう。



## ●おじいさんがかぶを引っ張っているページ

pull it up はひと息に「プーリッ tapp」と読みます。

pulled and pulled again は、この後、繰り返し出てくる重要な文です。

「プールダンブルダゲーン うんとこどっこいしょー。プールダンブルダゲーン うんとこどっこいしょー」と英語と日本語を交互に繰り返して聞かせると、子どもはリズムが同じことに気づくでしょう。



## ●おばあさんを呼ぶページ

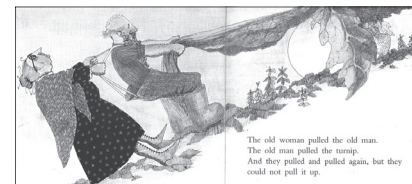
家の中が精巧に描かれていて、見るだけで楽しいページです。

窓から呼んでいるおじいさんを指して「何と言っているかな」と聞くと、子どもは「手伝って、と言っているよ」と答えるでしょう。先生は、That's right. Please help me pull up the

turnip. と言い直して聞かせましょう。

おばあさんが、鳥かごの中に手を入れてインコのくちばしを押さえて静かにさせているのは、笑ってしまいますね。Sh! Be quite や、おじいさんに Sure. (いいですよ、もちろん) と言うセリフを加え、子どもといっしょに言ってみると参加型の読みが実現でき、子どもが喜びます。

また、このページでは、おばあさんの編み上げブーツ (lace ups) に注目させたり、壁に飾ってある写真の数を数えたりしながら、家の中でも靴を脱がないことや家族の写真を飾るなどの外国の文化に触れさせることができます。



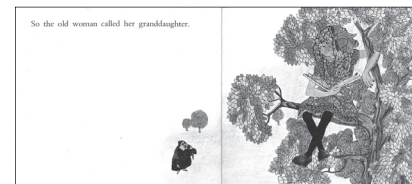
## ●ふたりでかぶを引っ張っているページ

英文の表す登場人物を指しながら読みましょう。

The old woman pulled the... と間を空けて、おじいさんを指したまま、

ゆっくりと old man 「オールドゥーマーン」と言います。こうすると、子どもは、音声を絵を同時に結び付けて、理解することができます。

「さあ、抜けるかな」と言ってから 前ページの要領で「They pulled and pulled again. プールダンブルダゲーン うんとこどっこいしょー」と言います。



## ●孫娘を呼ぶページ

孫娘は、木の上で読書をしています。これは、国語の教科書や日本語訳されている絵本にはない設定で、子どもの興味を惹き付けます。おばあさんがとても小さく描かれていますから、相当

高い木ですね。先生は、The old woman called her granddaughter. と読んでから、上を向いて両手をメガホンにし、Please help us pull up the turnip. と言います。子どもにも、上を向いて Please help us. とおわせてみましょう。